

②砂漏れの有無の確認

袋の違いによる砂漏れの有無を確認した。

○使用した海浜砂：細かい貝殻混じりの砂 →



1) 砂詰め

表層部分の砂を詰めた

※ ジュート袋も確認した



2) 水締め

海水によって砂を締める
(護岸部での施工を想定)

※ ジュート袋も確認した



3) 確認

A: 米・穀物袋

細粒分は多少流出したが、
砂の大部分は袋内に残った。

B: ジュート袋

米・穀物袋に比べて砂の
流出が多かった。

→ Aの方が良いと判断

3

2. 護岸での確認(石の隙間に袋詰めした基盤を設置できるかH18年度完成部で確認)

①標準的な場と思われる箇所での確認(幅40cm、深さ60cm)



1) 米・穀物袋を使用



2) 確認箇所 (幅40cm、深さ60cm)



3) 砂の投入



4) 水締め



5) 砂の補充・水締め (繰り返し)



6) 基盤形成 (所要時間15分)

4